

奈弓連だより

通巻 196号

平成 30 年 6 月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

第1回伝達講習会を称号者対象に開催 受講生が能動的に講習に参加することを旨す

6月10日(日)、奈良市弓道場において称号者を対象に今年度の第1回伝達講習会が開催されました。講師は5月19、20日に行われた地区指導者講習会に参加された吉本清巳さん、綿松さん、長濱正伸さん、大西さん、松村さんが務めました。受講生は37名でした。

射手：吉本講師、第一介添：西田受講生、第二介添：高倉受講生による矢渡し後、伝達事項の伝達を座学にて行い、その後受講生全員で一つの射礼研修、最後に仕上げとして一手行射を行いました。

今回の講習会では、矢渡しの講評を受講生も行うという試みがなされ、介添に当たった受講生だけでなく見取り稽古をしている受講生にとっても緊張感のある矢渡しとなりました。また、全体を通して見ても、射礼研修時に受講生も指導を担当しお互いの動きを指摘し合ったり、講習会の最後にフリーディスカッションの時間が設けられる等、受講生の積極参加を促す内容が多く盛り込まれ、受講生が能動的に講習に参加するという点に重点が置かれた講習会でした。

最後に伝達事項を以下に記載します。今年度は指導者の心得に重点が置かれ、特に「弓道教本及び副読本に基づいて指導を行い、それら以外は参考であり強要しない」ということが強調されていました。



講師等の視線が注がれる中、真剣に研修を行う受講生

平成 30 年度指導方針

～弓道教本及び副読本に基づいた基本の徹底～

指導者の心得 (地区指導者講習会及び指導者育成講習会)

1. 日本弓道の指導者として、自ら至誠と礼節を体現し真善美を目指すこと。

昇格おめでとうございます

滋賀県立武道館弓道場で開催された【近畿地区】錬士臨時中央審査会において、次の方が錬士に昇格されました。

5月26日 長濱 有美 (檀原支部)

5月27日 越智 和子 (奈良支部)

おめでとうございます。

(事務局)

2. 指導者の持つ影響力を自覚し、自身の言動の倫理性について常に注意を払うこと。
3. 指導にあたっては、自らが実践躬行すること。
4. 指導にあたっては、弓道教本及び副読本に基づき全国的に統一された指導を行うこと。

指導項目(地区指導者講習会及び指導者育成講習会)

1. 「射法、射技の基本」に徹すること
 - ・基本の5項目を深く習得していく
 - ・正しい射法八節を実践していく
2. 「基本体の必要性」の実践
 - ・動作の注意点(八項目)を習得していく
3. 高段位者について
 - ・更なる射品、射格を高めていく努力を怠らないこと
4. 公認資格認定制度について
 - ・平成30年度は「公認資格認定制度」施行の初年であるのでこの周知と定着を図っていく

(指導部 佐藤峻)

全日本近的弓道選手権大会奈良県予選会 吉本清巳教士七段が最高得点賞

平成30年5月27日(日)檀原公苑弓道場において第8回全日本近的弓道選手権大会奈良県予選会が、男子19名、女子16名の参加にて開催されました。競技は近的4射(一手2回)の点数と的中による予選通過者により近的6射の的中により争われました。結果は次頁のとおりです。

最高得点賞

吉本 清巳 教士七段 (布目)

成年男子の部

1位 長濱 正伸 錬士六段 (樫原)

2位 小林 保彦 錬士六段 (奈良)

3位 原田 祐介 五段 (樫原)

成年女子の部

1位 八木 純子 五段 (錬弓会)

2位 白井 礼子 錬士六段 (錬弓会)

3位 西田 ゆり 錬士六段 (奈良)

全日本弓道近的選手権大会近畿予選会出場選手

試合後、審査員協議の結果、次の選手が選ばれました。

男子 吉本 清巳 教士七段 (布目)

綿松 昭寛 錬士六段 (樫原)

藤岡 順 教士七段 (香芝)

佐藤 峻 錬士六段 (郡山)

長濱 正伸 錬士六段 (樫原)

女子 白井 礼子 錬士六段 (錬弓会)

東中 千佳 錬士六段 (樫原)

松村 由喜子 錬士五段 (奈良)

八木 純子 五段 (錬弓会)

松澤 和実 錬士五段 (奈良)

(競技部 西田ゆり)

近畿地区指導者講習会

広い視野で、弓道普及を図ることの大切さも学ぶ

5月19日～20日、滋賀県立武道館弓道場において「平成30年度【近畿】地区指導者講習会(主任講師：柴田猛範士九段、講師：澤田欣一範士八段)」が行われ、本県連盟の吉本清巳さん、前角さん、綿松さん、長濱正伸さん、松村さんと共に参加させていただける機会に恵まれました。日程については、講師による指導方針の説明のほか、評価シートを活用した一つの射礼研修、講師による模範演武及び射技研修等が行われ、講師の先生方はもちろん、早朝から就寝時までご配慮



講習会で行射する吉本清巳教士七段

をいただいた滋賀県連をはじめ、近隣府県の方々との交流も含めて非常に中身の濃い2日間となりました。私は今回が初めての参加で、「指導者」という言葉に少し気後れしていたのですが、講師の先生方のご指導はもちろん他の受講生の見取り稽古も非常に勉強になり、気が付けばすっかりのめり込んで必死でメモをとっていました。学んだ内容は、今後、伝達講習会等の機会を通じて1人でも多くの方にお伝えしていければと思っています。

ちなみに、最も心に残っているのは、講師の先生方が「弓道教本や副読本に掲載されていない事柄は私見であり、指導の際にはそれらを明確に区分して扱わなければならない」旨のお話をされていたことです。もう一度『弓道教本』と焦らずゆっくり向き合いながら、誤解や思い込みなど曖昧な点を整理する必要性に改めて気づかされました。

また、講師の先生方とのお話からは、単に技術を磨くだけではなく、今回のような講習会等の機会を通じて仲間を増やし協力し合いながら、他のスポーツや社会現象を含めた広い視野に立って弓道の普及や底上げを図っていくことの大切さも感じることができました。まだまだ「指導者」には程遠いのですが、その一翼を担うお手伝いができるように、これからも研鑽を積んでいきたいと思っています。

(指導部 大西洋亮)

香芝市選手権大会

中学生選手と一般選手が競技、交流

平成30年5月13日(日)香芝市立香芝中学校弓道場において「平成30年度香芝市選手権大会」が開催されました。矢道に臨時特設観覧席が設けられ、中学生の保護者など多くの観客が見守る中、四つ矢3回1人12射による競技が行われました。

当日は雨の降り続く試合となりました。矢取りに行くだけでもずぶ濡れになる天候でしたが、時間のある中学生や保護者も射の安定感や矢勢の迫力、幅広い年齢層が参加した一般の射を熱心に見入っていたのが印象的でした。その中、順位決定戦において一般男子の参加者7名のうち5名による2・3位の競射となりました。できるだけ近くで観戦したいと道場内は熱気に包まれました。普段なかなか交流することの無い中学生と一般が一つの空間で一つの競技を見守る選手権ならではの雰囲気を感じずばかりの一日となりました。結果は次の通りです。

成績及び表彰者

中学生男子の部

優勝 樋口 大翔、 2位 村上 竣哉

3位 山口 圭太郎

中学生女子の部

優勝 涌田 優希、 2位 種村 百々乃
3位 平野 由菜

一般男子の部

優勝 江澤 翔、 2位 岡 雅佳
3位 竹村 邦夫

一般女子の部

優勝 白井 礼子、 2位 脇阪 佳エ
3位 梶原 浩子



前列:中学生の部で入賞した選手達、後列:一般の部で入賞した選手達

(香芝支部 牧浦信恵)

3年ぶりに全日本勤労者弓道選手権大会に出場してきました

6月1日(金)～6月3日(日)に水戸市堀原運動公園武道館弓道場で行われた第65回全日本勤労者弓道選手権大会に出場しました。3年ぶりの出場でしたが緊張感のある道場で良い射ができず予選敗退という結果になってしまいました。晴れの舞台で練習の結果をだす難しさを改めて勉強させていただきました。今後共ご指導よろしくお願ひ致します。ご声援ありがとうございました。



第65回全日本勤労者弓道選手権大会会場にて

(シャープ 菅沼利人)

インターハイの県代表に、団体男子は平城高校 女子は郡山高校が選ばれる

平成30年度全国高等学校総合体育大会、第63回全国高等学校弓道大会および第71回近畿高等学校弓道大会の県予選会が5月4日の第1次予選通過者により、6月10日に檀原公苑弓道場において開催されました。

個人1位2位、団体1位は、8月2～5日静岡県袋井市で行われる第63回全国高等学校弓道大会に出場します。また、個人10位まで、団体4位までは、7月21日、22日檀原市で行われる、第71回近畿高等学校弓道大会に出場します。

個人戦

5月4日の予選通過者、男子30名、女子29名により、準決勝(4射3中以上で通過)を行い、準決勝通過者、男子11名、女子9名により決勝戦を射詰めで行いました。(女子の10位は、2中6名から射詰めで決定)結果は次の通りです。

個人戦入賞者

男子個人の部

- 1位 堀内 大輝 (畝傍)
- 2位 鍵谷 悠喜 (榛生昇陽)
- 3位 松田 遼大 (郡山)
- 4位 西谷 永 (檀原)
- 5位 田次 詠一 (平城)
- 6位 森 健人 (桜井)
- 7位 田宮 颯人 (法隆寺国際)
- 8位 花瀬 翔一 (五條)
- 9位 岩井 郁也 (五條)
- 10位 新野 竜也 (郡山)



男子個人の部 入賞者: 左から1位～10位の選手達

女子個人の部

- 1位 芳田 小都希 (畝傍)
- 2位 吉田 実莉 (平城)
- 3位 藤井 志帆 (郡山)
- 4位 森 あずさ (奈良北)

- 5位 北尾 美結 (奈良)
- 6位 森本 莉奈 (橿原)
- 7位 足立 優香 (奈良北)
- 8位 和泉 芽佳 (登美ヶ丘)
- 9位 有田 優希 (奈良北)
- 10位 樽井 風 (奈良)



女子個人の部 入賞者：左から1位～10位の選手達

団体戦入賞校

5月4日の予選通過校6校により総当たりのリーグ戦が行われました。5人立各自4射、合計20射により、5試合(100射)を行い、順位を決定した。

男子団体の部

- 1位 平城高校 4勝1敗 66中
足立 拓馬・藤岡 晋平・岡本 寛貴
久保田 直樹・廣田 宥斗・田次 詠一
- 2位 五條高校 4勝1敗 64中
花瀬 翔一・岡田 空士・竹本 翔哉
尾崎 賢太・赤松 弘脩・岩井 郁也
- 3位 橿原高校 3勝2敗 62中
尾井 響涼・高橋 優介・夷 孝浩
辻井 寛己・西谷 永・鈴木 颯太
- 4位 榛生昇陽高校 2勝3敗 56中
白井 辰季・常岡 克史・乾 督孝
中島 冨介・鍵谷 悠喜・中辻 良紀



前列:1位 平城高校、後列:左から2位 五條高校、3位 橿原高校の選手達

女子団体の部

- 1位 郡山高校 4勝1敗 63中
植木 鈴華・笠原 涼子・井上 美風衣
甲谷 ひより・田島 里紗・堀口 なつ
- 2位 橿原高校 4勝1敗 52中
高田 真衣・岩井 彩華・河村 歩優
渡邊 沙紀・森本 莉奈・米田 朱里
- 3位 奈良北高校 4勝1敗 42中
長山 萌々花・山田 詩織・米田 真由
有田 優希・足立 優香・森 あずさ
- 4位 高田商業高校 1勝4敗 44中
廣田 愛・杉山 優・元持 紗雪
竹原 見幸・徳久 唯・東 菜々



前列:1位 郡山高校、後列:左から2位 橿原高校、3位 奈良北高校の選手達

(高体連 藤村佳照)

橿原市中学校総合体育大会弓道の部

団体の部:男子は白橿中、女子は橿原中が優勝

平成30年度 橿原市中学校総合体育大会弓道の部が6月17日(日)に、橿原公苑弓道場で、橿原市中学校体育会主催、奈良県中学校体育連盟共催で、開催されました。競技は近的で団体競技・個人競技で実施されました。個人戦は各自8射(4射2回)を行い、的中数により順位を決定。団体戦は男女とも各校1チーム、計4チームによる総当たり戦を行い、1チーム12射(各自4射)で競いました。参加者は男子52名、女子69名でした。結果は次の通りです。

個人戦

- | 男子の部 | 女子の部 |
|---------------|--------------|
| 優勝 内ノ浦春貴 (大成) | 優勝 中村 伊吹(橿原) |
| 2位 田中邑海星 (大成) | 2位 森田 菜月(橿原) |
| 3位 柳川 勇太 (橿原) | 3位 山田 春奈(橿原) |



個人入賞者:左から女子 優勝、2位、3位、
男子 優勝、2位、3位の選手達

団体戦

男子の部

優勝 白檀中 (小田・金原・中平・藤田)
2位 檀原中 (田中・福田・辰巳・柳川)
3位 八木中 (升木・牧野・大塚・岡村)



男子団体入賞者:前列 団体優勝 白檀中、
後列左 団体2位 檀原中 後列右 団体3位 八木中
の選手達

女子の部

優勝 檀原中 (山田・高野・森田・中村)
2位 白檀中 (菊池・広瀬・水脇・井出)
3位 八木中 (和田・岩田・長谷川・細井)



女子団体入賞者:前列 団体優勝 檀原中
後列左 団体2位 白檀中、右 団体3位 八木中
の選手達

(中体連 中前芳一)

編 | 集 | 後 | 記

第1回伝達講習会が開催されました。今年度も「射法、射技の基本」に徹すること、「基本体の必要性」の実践が指導項目として掲げられています。基本を忠実にやるということがいかに難しいかということだと思います。

大和流稽古修業心得の歌の一つに「弓を射る其身を何と思ふらん、神や仏の体と知るべし」があります。

「其身と云うのは弓を射る其の人各自の事である。弓は奸邪を撃破し正義を守る破邪顕正の聖器である。又神仏は通力自在にして、何物にも恐怖のあることはない。依って弓を射るものは自分自身を何と心得て居るのであろうか、我が心身を清浄にし、正義人道を履行し、外界の何物にも恐怖する事なく、わが身を神仏に準え、神仏に託して、弓を行射すべきであるとの射手の心を示した教歌である。」(現代弓道小事典参照)

「破邪顕正」の額を道場で見かけます。元々、仏教用語ですが、弓との関連でその意味を知ることが出来ました。

編集担当 野尻賢司